

令和5年度 第2回学校評議員会 議事録

1 日 時 令和6年2月20日(火) 15:00~17:00

2 会 場 本校視聴覚室

3 出席者 学校評議員 5名

学校側 校長、副校長、事務長、総務主任、教務主任、生徒指導主事、進路指導主事、保健主事、電子機械科主任、総務部担当

4 進行 総務部担当

5 記録 総務部担当

6 内容

(1) 校長挨拶

(2) 令和5年度学校経営計画について (校長)

(3) 令和5年度重点目標について (各主任)

(4) 令和5年度高校の魅力化促進事業

久慈工業高校の魅力アッププロジェクトと学校評価結果について (副校長)

(5) 意見交換

進 行： 学校評議員の皆様より、本校に対する率直な御意見、御要望や御質問などをいただきたいと思ひます。

B 評議員： 分かりやすい授業であると答えた生徒が100%というのは素晴らしいと思ひます。生徒が授業に満足しているのであれば、徐々にレベルアップしていく授業があつてもいいと考へます。

A 評議員： ベンチマークする場合の目標管理で考へると、目標設定というのは前年度より上にします。昨年の目標値90%以上が達成できたのであれば、例えば今年度の目標値を100%にするなどしたほうがいいと思ひます。

A 評議員： 退学者、休学者、長期欠席者がいないのは素晴らしいです。分かりやすい授業でさらに問題も少ない学校に生徒が一生懸命通学しているのは素晴らしいと思ひます。

D 評議員： 学校いじめ対策の取組みで、問題が発生したら、それをきっかけとして、指導や支援を行うという言葉のとおり実行されていると思ひました。

C 評議員： 学校評価のアンケートのほとんどが、問題なくAとBということですが、数件のCとDの部分のマインドを考へて、さらに上を目指せばいいと思ひます。

A 評議員： 質問ですが、学校評議員会というのは、どこの県立高校でもやっていますか。

校 長： 地域や産業の方に学校評議員を各学校で設定しています。統合後の令和7年度からは少し形を変えて学校運営協議会にシフトします。学校評議員会も学校運営協議会も地域の方々の意見を聞いて学校運営をするということが目的で設置されています。

A 評議員： この質問をした理由は、学校評議員会が素晴らしい活動で、アンケートも生徒と保護者と教職員の方々のデータを三系統で取つて、さらに外部の人から見た時にどうかということが極めて素晴らしい活動だと思ひました。

B 評議員： 昨年、陸前高田で行われた全国植樹祭に久慈工業高校の生徒がブースで(県産杉を用いたテーブルと椅子の)展示をしていました。中学生やその親御さんが展示などで見る機会を増やし、工業科のアピールを検討するのもいいと思ひます。

- E 評議員： 学校での取り組みが素晴らしいと思います。もう少し入学者が増えるように、私も頑張りたいと思います。
- A 評議員： 久慈工業高校では製作した成果物を寄贈するという事は商品化しているわけです。実習のようにただ作るのと製品にするのは、少し意味合いが違うと思います。全部の科がいっしょになってできるようなことをやれば思い出になると思います。
- D 評議員： 中高連携での出前授業を今年もやっていただきました。また、校内の課題研究発表会にもお招きしていただき、出願を迷っていた生徒が久慈工業高校に入りたいと話していました。やはり久慈工業高校が何をしているかを知ることは、進路を決める上で重要だと改めて思いました。
- C 評議員： 県北地域の企業に訪問して話を聞くと、企業が先生と生徒と生徒の保護者と繋がって、自分のところの企業を紹介したいという話を聞きます。企業の紹介や企業のPRを聞く機会をどんどん増やしてもらいたいと感じています。
- B 評議員： 生徒に個別に対応していただければよりよい学校運営になると思います。また、これから社会に出て行く生徒に向けて注意やアドバイスをしてほしいと思います。